優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	別紙４（２）） 身体拘束廃止委員会が開かれていない。以前は何かを作るという機会が多かった。身体拘束についての社内研修を定期的にあったが、入居者様のレベルダウンに伴い減少している。	連携や交流、防災意識を深める。 軸となるケアが必ず施行されるようにする。 身体拘束をする事前の考え方を考える機会を設ける。	ケアプランに沿ったケアが出来ているかどうかを確認する。 ケアプランチェック表を作成する。軸となるケアを施行する。 身体拘束をする前に、代替案を考えるよう教育する。 事業所として身体拘束をしないと考えている。	1ヶ月 2ヶ月 2ヶ月
2	新	目標達成計画が出来ていない。	目標達成計画を作成し、マニュアルに沿って身体拘束についての社内研修を実施する。	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について記載してください。項目数が足りない場合は、適宜行を追加してください。			
2	33	目標が一つも無かったり、抽象的な目標であったり、目標が無事故等を謳っていたりと、事業所の現状のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記載してください。			
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	新	火災、地震、水害、土砂災害、消防訓練を実施している。スタッフ全員に対し、消火方法や通報、避難経路等を要約し、書面にて回覧伝達しているが、具体的な災害時の対策マニュアルがない。	災害対策マニュアルを作成する。 全スタッフが共通した詳細情報を共有することで、事故発生のリスクを減らす。	災害に対する共通認識を設ける。 全スタッフが漏れなく閲覧するよう、閲覧した者は押印する回覧版を使用して社内研修をおこなう。 また地域の方にも災害対策マニュアルの説明をおこなったり、消防訓練に参加していただいて、備えの重要性を訴えていく。	2ヶ月 2ヶ月